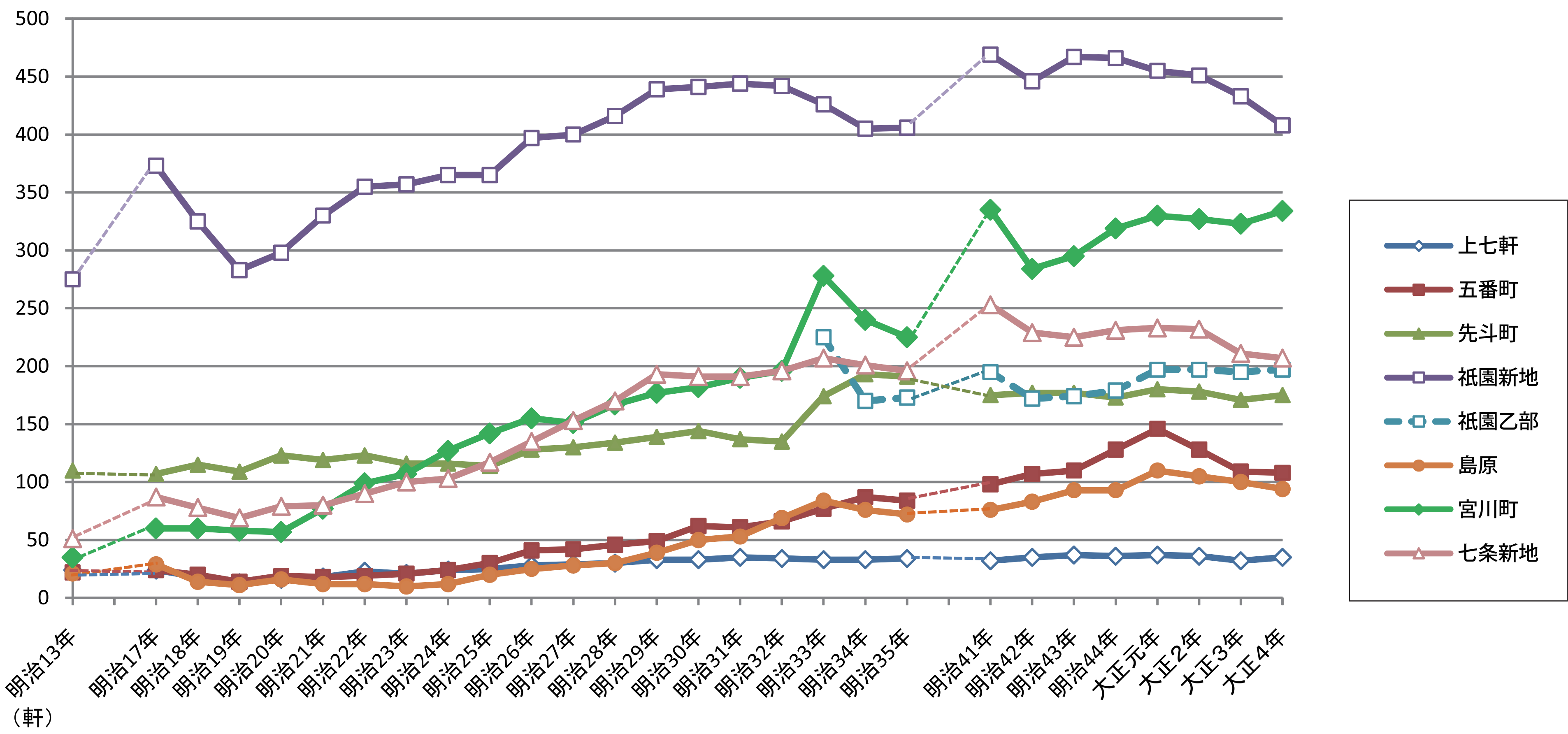


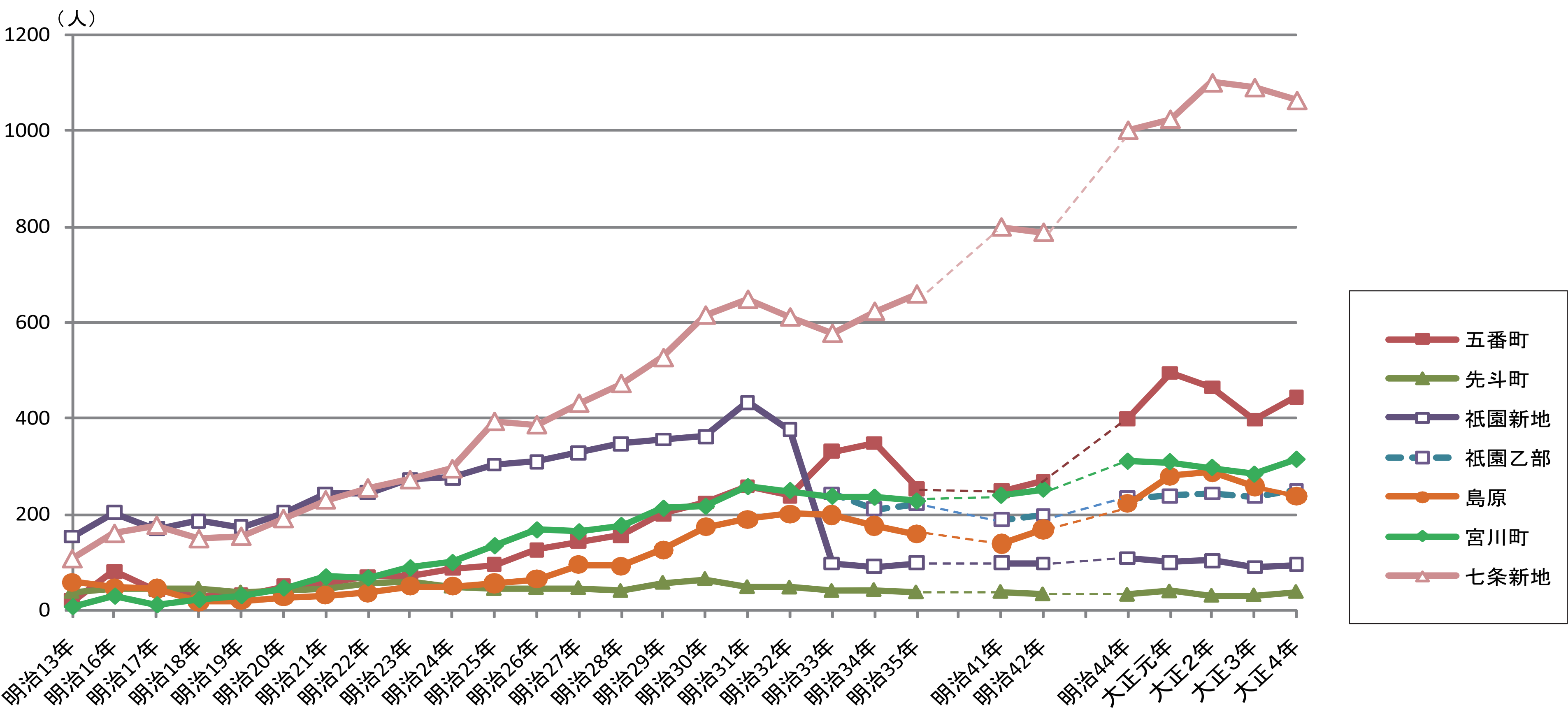
# 警察の統計からみる街の変化

グラフは京花街における貸座敷数の経年変化を、警察統計その他の資料にもとづき示している。広大な許可地を有する祇園新地は、甲部と乙部に分裂しながらも、最終的に 600 軒を超える貸座敷（お茶屋）を数えた。増加率が高い五番町・宮川町・七条新地・島原の各花街は、いずれも娼妓数の増加が著しく、京花街を全体として見たとき、緩やかながらも芸娼の分離がはじまっていたことを読み取ることができる。

（解説・グラフ作成：加藤政洋）



## 京花街における 貸座敷数の経年変化



## 京花街における 娼妓数の経年変化